

授業科目

体育原理・スポーツ哲学

担当教員名 宮尾 正彦 (非)	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

現代スポーツが抱える様々な問題や、実際の体育・スポーツ指導現場において想定される諸問題を取りあげ、それらに対してどのように対処するかを考えることによって、自分自身のスポーツに対する取り組み方や考え方を考察する態度を育てる。

授業の目的

本授業の目的は、可能な限り体育・スポーツを取り巻く諸種の倫理的問題を取りあげ、それらに対する自身の意見を持ち、具体的な対応や行動計画を持つことである。さらに他者との意見交換やディスカッションを通じて、自身の考え方や行動規範を更に深みを持たせる。これらを通じて自身の体育及びスポーツ観を考察する。

学習目標

1. 体罰とスポーツ指導：体罰の定義、現在の諸種の事例を知る
2. フェアプレー：フェアプレーとアンフェアの違いを知る。具体的な事例からフェアプレーについて考える
3. ドーピング問題：ドーピングの定義や禁止理由を理解し、ドーピングにまつわる諸問題を考える
4. スポーツ試合における誤審：スポーツにおけるルールや審判の存在意義を理解する
5. スポーツと八百長：過去の事例からスポーツと八百長との関係とその危険性について理解する
6. スポーツ現場における暴力：運動部活動を中心にスポーツ指導における暴力に関わる問題を理解する
7. スポーツと様々な差別：性、人種などスポーツ界における様々な差別問題について理解する
8. 体育・スポーツの概念：授業で学んだ様々な事例、問題を通じて、体育やスポーツの価値や意義について考える

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	体罰とスポーツ指導 (1)	体罰問題の事例を知る	宮尾 正彦
2	体罰とスポーツ指導 (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
3	フェアプレー (1)	フェアプレーの概念と事例	宮尾 正彦
4	フェアプレー (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
5	ドーピング (1)	ドーピング問題の事例	宮尾 正彦
6	ドーピング (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
7	誤審問題 (1)	誤審の歴史	宮尾 正彦
8	誤審問題 (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
9	八百長問題 (1)	八百長の歴史	宮尾 正彦
10	八百長問題 (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
11	スポーツにおける暴力 (1)	スポーツ現場における暴力問題の事例	宮尾 正彦
12	スポーツにおける暴力 (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
13	スポーツにおける差別 (1)	スポーツにおける差別問題の事例	宮尾 正彦
14	スポーツにおける差別 (2)	グループ討議とミニテスト	宮尾 正彦
15	体育・スポーツの概念	講義	宮尾 正彦

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	スポーツ哲学の入門ースポーツの本質と倫理的諸問題	シェリル・ベルクマン・ドゥルー、川谷茂樹 (訳)	ナカニシヤ出版	2012年	2,600円 + 税	
	なぜ、スポーツ選手は不正に手を染	マイク・ローボトム	(株) エクス	2014	1,800円	

	めるのか〜アスリート不正列伝		ナレッジ	年	+税	
参考書	FIFA腐敗の全内幕	アンドリュー・ジェニングス	文藝春秋	2015年	1,600円 +税	
	運動部活動の教育的入門〜歴史とのダイアローグ	神谷 拓	大修館	2015年	2,800円 +税	
その他の資料						

評価方法

7回実施予定のミニテストの合計を評価の基本とする。さらに授業ごとに記入するミニレポートも評価対象とする。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。